



# 復職支援実務研修報告

石川 麻奈美さん

会員ライフサポート部  
活動報告 第52報  
職場環境を考える

復職支援実務研修を開始して5年目となりました。少しずつですが、研修の参加者も積み重なってきました。

これまで4名の方が参加されました。それぞれで離職した事情があり、復職への不安内容も様々です。ライフサポート部では、個別に研修内容、研修先を相談しながら参加できるようにしています。今回は、回復期から生活期まで様々な施設で理学療法士が活躍している、鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院とその関連施設での研修がかないました。参加された方からの感想をいただきましたので、皆様にご紹介します。

働きたいけど「専門職として戻るのには自信がない・・・」「仕事との両立が本当にできるのか体力的に心配・・・」「以前とは違った分野で働いてみたい。でも実際はどんな感じなのかな？」など、不安に思うところは様々ですが、悩んだら実務研修の相談をしてみてください。「現場研修・復帰はまだ難しい」という方は託児室付の研修会なども企画していますので、子供連れで外に出て来て他の理学療法士の集まる場所に顔を出してみましよう。ちょっと顔を出しておくだけでも情報がいろいろ入ってきます。とにかく、1歩踏み出してみましよう。

研修協力施設も同時に募集しております。一緒にお手伝いしていただける施設を少しずつでも増やし、いろいろなニーズに対応できるようにしていければと思っています。

## ■研修スケジュール

(研修施設：鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院)

	火	木	金
9:00-9:50			訪問リハ同行
10:00-11:50	通所リハセンター 見学	病棟見学・体験	
12:00-13:00	昼食	昼食	昼食
13:00-14:00	移動		外来リハ見学
14:00-16:00	デイサービス台 見学	病棟見学・体験	

## ■復職支援実務研修に参加して

神奈川の一般病院で5年勤務し、夫の転勤により山梨へ。その後パートにて2年程訪問リハビリテーション事業所で働かせて頂きました。その間、2人の子供に恵ま

れ子育てを経験しました。再び夫が転勤となり、神奈川へ戻って来ました。

途中、幼稚園や学校の役員をしたりとすぐには働くことができず、トータルのブランクとしては8年もの長い期間となってしまいました。

下の子が小学生になったので、そろそろ復帰を考え、まずは働くきっかけになればと思い、復職支援研修に応募しました。

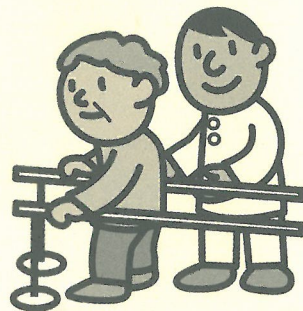
研修先はなるべく自宅に近い所、生活期の施設を希望し、会員ライフサポート部の方に探して頂き、実現することができました。

研修先は回復期、通所リハビリテーションセンター、デイサービス、訪問リハビリテーション、外来リハビリテーションと幅広く展開されている施設だったので、3日間のスケジュールで一通り見学させて頂くことができました。また、見学中にはそれぞれの部署の担当PTの方に丁寧に説明して頂き、仕事への理解を深めることができました。

限られた時間では、患者さんや利用者さんへ深く関わることは難しいですが、時々患者さんや利用者さんとのコミュニケーションを取る中で、素晴らしい仕事であることを再確認できました。デイサービスでは利用者さんが担当PTに、「あなたがいるから頑張れる」と言っていたのが印象的でした。

制度や理学療法技術は日々進化し、その一端に触れることができたのは良かったと思います。まだまだ勉強不足の為、多くの情報を理解するまでには至っていませんが今後働く中で少しずつ理解を深めていきたいと思っています。

今回、復職支援研修の施設を探して支援頂いた会員ライフサポート部の皆様、このような研修を初めて受け入れて頂き、お忙しい中スケジュール調整して頂いた施設の先生方に改めて感謝したいと思います。



## 活動報告



### 「復職支援実務研修」研修生募集中 (詳しくはホームページをご覧ください)

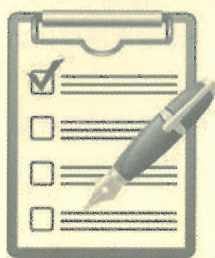
離職中の会員を対象に、復職への不安の解消のため実際の臨床現場での研修を行っています。

【問合せ・申込み先】 [lifesupport@pt-kanagawa.or.jp](mailto:lifesupport@pt-kanagawa.or.jp) ライフサポート部へメールをお願いします。

【研修期間】 平成28年3月31日までの1～5日間 【研修施設】 ご希望の地域、職域（回復期など）

【研修対象者】 離職中の理学療法士 【参加費】 1日1,000円

※日程や研修施設、研修内容については、個々の希望に応じて調整します。お気軽にお問い合わせください。



### 産休・育休取得時の人材確保についてのアンケート調査を実施しています。 ご協力をお願いいたします。

これまでの調査活動の中で、産前産後休業、育児休業（いわゆる産休、育休）の取得に伴う人材確保に苦慮しているとの意見がたくさん挙がっています。具体的な対策として県士会レベルでの人材バンク創設の要望もありますが、士会として検討していくには問題が多く容易ではありません。人材確保の問題は、現場スタッフの負担とともに、理学療法をうける利用者の方へのサービスの低下にもつながります。仕事を続けていきたいママさんPTにも精神的な負担を強いることになり、誰もが仕事しやすい環境を考える上では深刻な問題です。そこで、まずは産休・育休取得時のスタッフの人材確保について、皆様の施設ではどのようにされているのか情報を集めることから始めることにしました。お忙しいとは存じますが何卒ご協力の程よろしくをお願いいたします。

### 子どもと一緒に受講できるサテライト室併設の講習会を検討しています。

託児室の設置は予算の関係上無限大に設置は難しいのが現状です。

そこで、子どもを連れてきても講習が受けられる部屋を会場の国際医療福祉大学（小田原）のご協力のもと設置することを試してみたいと思います。

他の研修会、学会などでも試されており、「よかったよ」との声も聴いています。

具体的には、ホームページのライフサポート部「託児室付研修会」の案内に掲載します。

#### ★設置講習会★

生涯学習部企画神経理学療法講習会「脳画像の読影と理学療法への応用」

講師：大村優慈先生（国際医療福祉大学）

場所：国際医療福祉大学（小田原）

日時：平成27年12月13日 13時～16時

